議会一般質問

「ヤングケアラー」介護を担う子どもたちへの支援を！

日野・生活者ネットワーク 日野市議会議員
白井なおこ

家族の介護やケアを担って疲弊している子どもがいますが、見えにくい存在です。実態を把握して、支援につなげることを求めました。

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。その役割や責任が、お手伝いの範疇を超え、年齢に対して不釣り合いで過重な場合、人生設計に深刻な影響を与えることが懸念されます。このようなヤングケアラーには社会的なサポートが必要です。

日野市では、子ども家庭支援センターで、保護者のネグレクトとして受理されているケースがあることがわかりました。支援策の狭間にあり、見えにくい問題であることから、学校をはじめ、子ども・高齢・障害福祉等の関連諸課の横の連携が欠かせません。ヤングケアラーの実態調査を行った自治体の例や、サポートが進んでいるイギリスの例を交えながら、ヤングケアラーという新たなきり口で、問題を共有することを求めました。市からは「支援について取り組んでいく」、市長からは「深刻さを受け止め、真剣に考えていく」といった前向きな答弁を得ることができました。

「香害」を広げないために、なくしていくために

新聞広告を紹介し、質問する白井なおこ

「香り」で苦しんでいる人がいます。原因は主に香料に使われている化学物質です。被害者にも加害者にもならないために、周知・啓発を求めました。

香害（こうがい）とは、柔軟剤や消臭剤、制汗剤や合成洗剤など、主に人工的な香り付き商品の香料などに含まれる化学物質による、頭痛や吐き気などの健康被害のことです。さらに、ぜんそくやアレルギー、深刻な場合は化学物質過敏症を引き起こすこともあります。

これまで日野市消費生活センターには近隣の洗濯物の香り等について、また学校には給食の白衣や制汗剤に関する相談があったことが明らかになりました。

日野ネットで行ったアンケートや学習会で得た情報を交えながら、取り組みの一歩として、周知・啓発を要望しました。特に子どもへの影響が懸念されることから、学校においては「保健だより」などを通じての情報提供、ママパパクラスには洗剤等の成分表示の読み取り方を講座内容に盛り込むこと、さらに庁内や関連施設、使用するせっけんの成分・効果の再検証等を要望しました。市からは「市民に適切な情報提供ができるよう、香害に関する研修に積極的に参加する」「香料がはいっていないせっけんを選択していく」といった答弁に加え、市長からは、「産業界への働きかけを都や国に要望していくのは私の仕事」という力強い言葉もいただきました。

ハラスメント相談窓口が外部委託に！

所属委員会や本会議での議案に対する白井なおこの動きを紹介します。

●企画総務委員会：6月議会で提案した「ハラスメント相談窓口の充実」が外部委託として補正予算に計上。高く評価し、相談内容の報告を未然防止に活かすよう要望しました。

●特別会計決算特別委員会：国民健康保険の健診に緑内障の早期発見につながる「眼底検査」を加えるよう要望しました。

●民生文教委員会審議の補正予算で、プラスチック類ごみ分別収集方法については、市民が混乱しないような取り組みやごみ減量、発生抑制につながるよう強く要望しました。

●請願（2件）：「シルバーパスの改善を求める意見書」提出を求める請願に採択の立場で意見を行いました。（結果不採択）

「都の結婚支援事業に対応した日野市の結婚支援事業を推進するための請願」には不採択としました。（結果不採択）

＊詳しくは、ホームページをご覧ください。http://shirai.seikatsusha.me/

2019年度予算に対する要望書を市長に提出！

毎年、日野・生活者ネットワークでは、次年度の予算に反映を要望する事項をまとめて予算要望書を提出しています。今年も、先の市議選において提示しました7つの政策に則して、これまでの要望も精査し、市民の皆さんからの新たなご意見ご提案（一言提案）を含めまして21項目にまとめ、10月1日、市長に手渡しました。

＊要望の中から数点、ご紹介します。

●生活困窮者支援法に基づく、就労準備支援事業を早期に実施して、中間就労の場をコーディネートすること

●絵本の点字図書を増やすこと

●子どもから大人までのシチズンシップ教育を推進すること

●選挙での投票率向上のため期日前投票所として、移動投票所（市内を車による巡回による投票のしくみ）を検討すること。

これからも、市政に対しての提言をお寄せください。

生活者ネットワークの3つのルール

1 議員は交代制（ローテーション）

生活者ネットワークの議員は、最長3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。